



R3.11.1 発行

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。保育者が散歩へ出かけることを伝えると、今までは自分のものが分からず保育者に靴下や靴を持ってきてもらい、履かせてもらうのを待っていた子ども達。今では自分のものと友だちのものの区別がついてきて、自分の靴下や靴を持ってくるようになりました。保育者に手伝ってもらいながら、靴下を上げようとしたり、靴に足を入れて履こうとしたり、戸外へ出かける支度を自分でやろうとする姿が見られるようになってきました。出来たことを褒めて自分でやってみる経験を通し、「自分で」という気持ちがより芽生えるような援助をおこなっていきたいと思います。

友だちや保育者と手を繋いで散歩に出かけると、どんぐりやまつぼっくりなど、秋の自然を見つけ探索遊びを楽しんでいる子どもたちです。今月も秋の自然に触れながら散歩へ出かけたいと思います。



(今月のねらい)

- 靴、靴下を自分で履こうとする。
- 保育者や友だちと手を繋いで歩く距離を伸ばしていく。

(今月の活動)

- 散歩(園の周り・線路沿い・上宿公園)・探索あそび・巧技台遊び・体操
- 指先遊び(のり・絵の具・粘土・砂・シール)



寒くなってきたので、散歩に出掛ける際に着用する上着(フードがない物)の準備をお願い致します。上着は園でお預かりします。必ず記名の方もお願いします。

なお登園の際に着ている上着を使用してもよい場合は、用意がなくても大丈夫です。